



パープルリボン・コンサート 開催のお知らせ

◆◆暴力に対抗するのは、「音楽による美的体験」と「ユーモア」です！◆◆

誰もが女性・男性の良好な関係を築きたいと願っています。それを目指すのが《パープルリボン・コンサート》、今年で3回目の開催です。「暴力賛成」という人は殆んどいない、だから《パープルリボン・コンサート》は多くの人々に愛されるコンサートです。

出演者の経歴は多種多彩でユニーク、プロ・アマの別も音楽ジャンルの垣根も超えて、この土曜午後をたっぷりとお楽しみください。多くの方のご参加をお待ちしています。

【出演予定】 會田瑞樹(打楽器奏者)／天宮耀子(歌手)／草柳和之(大学非常勤教員・心理士)〔注1〕／蕤澤明(元精神科診療所心理士)／野崎ユミカ(パンフルート奏者)／藤森恵(ピアニスト)／風呂本佳苗(ピアニスト)／水井真希(映画監督・女優)／水城ゆう(作家・ピアニスト)／野々宮卯妙(朗読家)／安井洋輔(歌手)／米永志奈乃(ピアノ教師)／他

→ → → 本コンサートはチャリティー公演で、収益金は都内婦人保護施設に寄付されます。

【演奏曲目予定】

- W.A.モーツァルト「モーツァルトの子守歌」
- S.ラフマニノフ「エチュード『音の絵』」Op.39-5 変ホ短調
- J.S.バッハ〈J.ブラームス編曲〉「シャコンヌ 二短調」
- 野村誠「DVがなくなる日のための『インテルメッツォ(間奏曲)』」
- 草柳和之〔注1〕作詞／野村誠作曲
『DV撲滅ソング～DVカルタを歌にした』〔注2〕

●その他

〔日 時〕 2019年 11月 30日(土), 13:30～16:45.

〔参加費〕 予約 1500円(当日 1700円) 〔定 員〕 50名

〔会 場〕 音楽堂 ano ano (JR大塚駅 5分)

: 豊島区南大塚 1-49-2 ハイデルムント 1F

〔主催・問合せ先〕 **メンタルサービスセンター**(要予約)

〒176-8799 練馬郵便局留 ☎03-3993-6147

<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

★出演者(ノーギャラ)・当日のボランティアを募集中です。

★活動内容問合せ、カウンセリング等は上記にご連絡下さい。

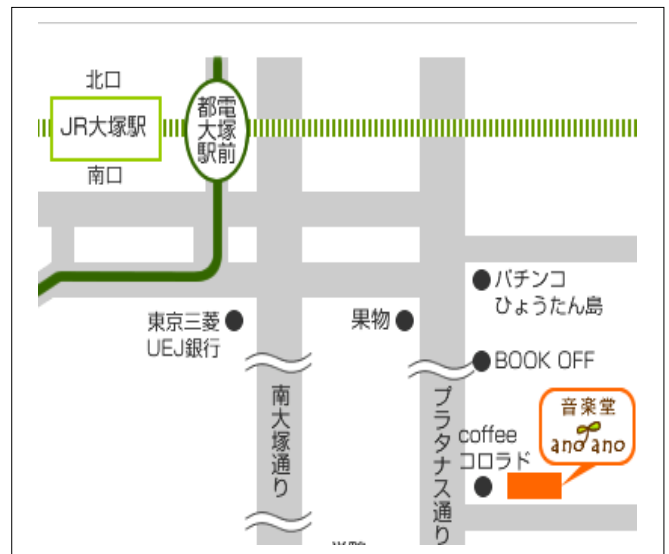
【注2】⇒ 曲の紹介

DV防止キャンペーン音楽の委嘱第2曲。DVをテーマにカルタとして編集した《DVカルタ》は、DV問題啓発ツールであり、全44枚の読み札、絵札、解説書から構成されています。その読み札を並べて歌詞として作曲されました。全4曲。曲は明るく時に大胆、シュールだがおかしい、このミスマッチがディープな音楽体験へと誘います。

【パープルリボン・コンサートとは?】

11/25は国連・女性に対する暴力撤廃デーです。その時期に合わせ、2017年より《パープルリボン・コンサート》を開催しています。

DV、セクハラ、性犯罪、他、女性に対する暴力をなくし、女性・男性の良好な関係を築くことを願おうと、音楽を持ち寄って奏でる、市民参加型のコンサートです。出演者の性別、プロ・アマも不問、出演者は、紫色のリボンを装着して演奏します。



【注1】《プロフェース:草柳和之》

メンタルサービスセンター代表・カウンセラー・大東文化大学非常勤講師。DV被害者支援に携わると同時に、日本で初めてDV加害者更生プログラムの体系的実践に着手、その方法論の整備、専門家研修の提供等により、この分野をリードしてきた。日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。

著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)、共著『標準音楽療法入門 下』(春秋社)、他、多数。日本カウンセリング学会認定カウンセラー。

草柳氏が作曲家・野村誠氏に作曲依頼したDV根絶を願う音楽を、講演の際に自らピアノ演奏し、国内のだけでなく、韓国・中国での平和イベントの際にも演奏活動を展開している。長年のDV問題の先駆的取り組みが評価され、社会貢献支援財団より、平成27年度社会貢献者表彰を受賞した。

《出演予定者(2019.8 現在)profile》

【**水井 真希**】女優・映画監督。自ら拉致されレイプ未遂となった体験と、その後、同一犯により連続拉致暴行・レイプとなった実際の事件を元に、映画『ら』を監督し、制作する。同映画は、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2014 オフシアター・コンペティションで入選、国内外 10 の映画祭で上映。

【**天宮 耀子**】シンガー & 作詞家。動画配信を中心に活動。Y ボイスドラマ「視線を感じて」主催、ラジオ川崎 FM「カフェインボンバー」「Four-leaf clover」への出演歴あり。この他にもイオンモール、さいたまスーパーアリーナ、老人ホーム、NPO 団体による祭典など多数のライブ経験を持つ。

【**萠澤 明**】長年、精神科診療所で相談員に従事した後、現在、「オフィスまほろば」を主宰し、精神障害者のピアサポートとして当事者研究やリフレクティングなどのグループ活動を行っている。10 代から演奏活動、現在は即興演奏から弾き語り、朗読まで、色々な表現スタイルでソロからユニットやコラボまで行う。日本病院・地域精神医学会学会誌編集委員。

【**草柳 和之**】表面に記載。本コンサートでは司会とピアノ演奏を務める。

【**藤森 恵**】桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。PTNA ピアノコンペティション全国入選、IAA 国際演奏家協会オーディション学生の部 1 位、他多数入賞。コンクール・オーディションでの伴奏ピアニストを勤めるなど、多数の合唱団、オペラ団体でのピアニスト等、日々、音楽活動を行っている。

【**水城 ゆう**】ピアニスト、小説家。NPO 法人現代朗読協会主宰、音読療法協会ファウンダー。韓氏意拳学会員。朗読と音楽によるパフォーマンス活動を 1985 年から開始。また、1986 年には職業作家としてデビューし、数多くの商業小説(SF、ミステリー、冒険小説など)を出している。現在は朗読と音楽を中心とした音声表現の活動を軸に、音読療法の普及・啓蒙活動やボイスコーチングをおこなっている。

【**野々宮 卯妙**】ロードク家・詩人・音読療法士。現代朗読協会員、音読療法協会員、日本平和学会員、韓氏意拳学会員。ポエトリースラムジャパン 2015 ファイナリスト。Nonviolent Communication (NVC) 歴 10 年超の実践者。NVC ジャパンネットワーク事務局および講師を務める。

【**野崎 ユミカ**】ブカレスト国立音楽大学演奏学部パンフルート科修士課程修了。ブカレストの民族音楽アンサンブル“ひばり”、ルーマニア国営ラジオ局民族オーケストラ、ジョルジェ・エネスク交響楽団のファゴット奏者達、等と共演。ジュルジュ市国際音楽祭で優勝(ルーマニア)。国際芸術連盟ポップスオーディション、エクセレントアーティスト賞受賞。演奏するジャンルは、古楽、現代音楽、民族音楽等幅広い。

【**會田 瑞樹 (Mizuki Aita)**】打楽器奏者。武蔵野音楽大学大学院修士課程修了。日本現代音楽協会主催第 9 回現代音楽演奏コンクール「競楽IX」で第 2 位入賞。2011 年 6 月にサントリーホール主催レインボウ 21『打楽器音楽、その創造と継承』公演において総合プロデューサーと演奏家として参加。これまで現代日本の名だたる作曲家、湯浅譲二・間宮芳生・末吉保雄・水野修孝・中川俊郎・近藤浩平など、幅広い新作初演を行い、その数は 200 作品を超える。『ヴィブラフォンのあるところ』等、3 枚の CD を発表。

【**風呂本 佳苗 (Kanae Furomoto)**】英国王立音楽院ピアノ科卒業、同院演奏専攻科修了。またロンドン大学大学院音楽修士課程修了。日英を拠点に、ソロや著名な演奏家とのコラボ等で、ヨーロッパや東南アジアの各国やアメリカ等で演奏を重ねる。2014 年度タイランド国際弦楽コンクール審査員。これまでにソロと室内楽の両方で 3 枚の CD をリリース。本年春、NHK文化センターの特別講座を開講。

【**安井 洋輔**】自身のバンドではベースを担当し、神奈川県や東京都を中心にしながら、全国で活動中。バンド活動と並行して、アコースティックギターとブルースハーブを用いて弾き語りを演奏する。

【**米永 志奈乃**】武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。シオン(スイス)及び、デトモルト(ドイツ)にて、F.W.シュヌアー氏(デトモルト音楽大学教授)に師事する。全日本ピアノ指導者賞等を受賞。ピティナ・ピアノコンペティション審査員。日本クラシック音楽コンクール審査員。